

麦作技術情報 No. 4

令和5年5月16日
鳥取県産米改良協会

- 令和5年産麦の収穫予想は、平年に比べて6日程度早い。
- 向こう1か月の天候は、気温と降水量及び日照時間は平年並と予想されています。
- 播種が早いほ場から順次収穫を行うなど、適期収穫を励行しましょう。

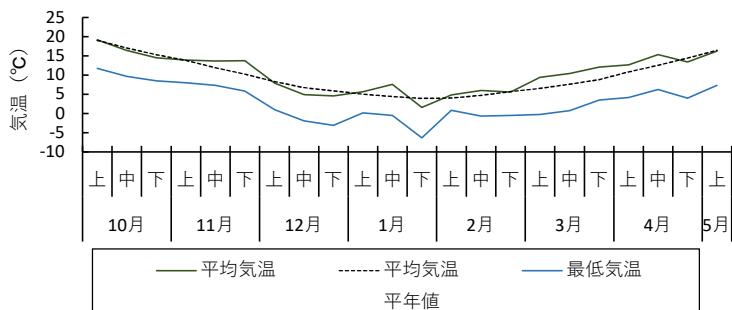
○農作業安全を徹底しましょう

- ・ほ場や農業機械の安全点検、熱中症の防止を図りましょう。【参考資料 3】

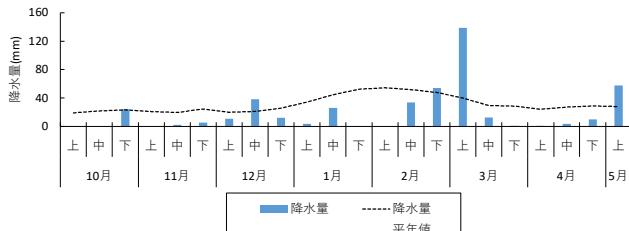
○適期収穫と適切な乾燥調製

- ・令和5年産麦は、12月下旬から3月上旬まで平年より低めの気温で推移し、降雪量が多くたが、3月中旬以降の高温、多日照の影響により11月上旬生育は平年より早くなっている(出穂期: 平年比6日早)。出穂後の気温は平年並、日最低気温は平年並みで経過しており、日照時間はやや多く登熟は順調である。
- ・品質を大きく左右する適期収穫が出来るかどうかが高品質麦生産の鍵を握るので、収穫適期の見極めと、適切な乾燥調製を徹底すること。

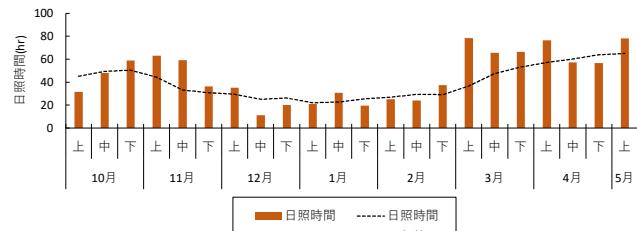
I 天気概況



【令和4年—5年における気温経過（倉吉市）】



【令和4年—5年における降水量（倉吉市）】



【令和4年—5年における日照時間（倉吉市）】

1 現在までの気象状況

麦出穂後の3月下旬から5月上旬の気象は、平年に比べて降水量が多く(平年比 169%)、平均気温は平年よりやや高かった(平年比+1.3°C)。日照時間は多く(平年比 112%)経過した。

2 天気予報

中国地方 1か月予報 (5月13日から6月12日までの天候見通し)

令和5年5月11日
広島地方気象台発表

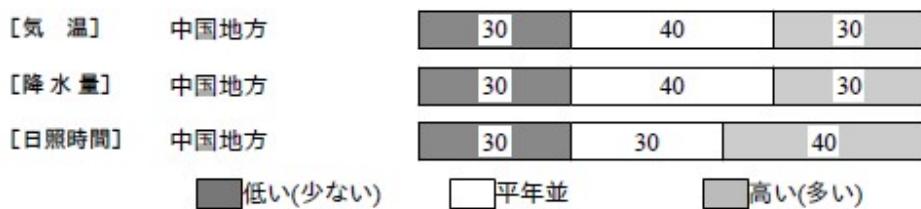
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

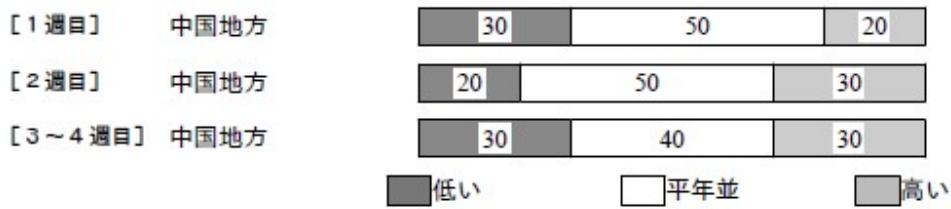
天気は数日の周期で変わるでしょう。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並の確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月	: 5月13日(土) ~ 6月12日(月)
1週目	: 5月13日(土) ~ 5月19日(金)
2週目	: 5月20日(土) ~ 5月26日(金)
3~4週目	: 5月27日(土) ~ 6月9日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週木曜日 14時30分 次回は5月18日
3か月予報: 5月23日(火) 14時

II 生育概況

1 二条大麦

○農業試験場

・農業試験場11月8日播種「しゅんれい」の出穂期は3月27日で、穂揃期は4月7日であり過去5年平均と比較すると3日程度早かった。穂揃期の穂数は過去5年平均と比較して少なく、葉色は平年並みとなっている。

○現地ほ場

・中部地区「しゅんれい」の出穂期は、11月上旬～中旬播種で3月25日～3月31日頃となっており、平年より生育進展が早いが、年に比べ、草丈は低く穂数は少ない。一部で網斑病の発生が見られる。

2 小麦

・西部地区の小麦は11月上旬～20日前後播種の「ミナミノカオリ」及び「はる風ふわり」で、出穂期は4月4日～15日となっており、昨年より1週間程度早い。下位葉中心に黄斑病の発生が見られるが、生育は概ね順調である。

III 技術対策

本県産麦の最重要課題は高品質化である。そのための最終作業である収穫・調製作業については、降雨等の気象情報に注意し、収穫作業が円滑に進むよう、事前にコンバインの整備や種子混入時の選別が難しい雑草(カラスノエンドウ及びヤエムグラ等)の抜取など準備を行っておく。

1 収穫

11月上旬播種の大麦収穫適期目安

令和5年5月12日現在

品種	産年	出穂期	出穂期～成熟期日数	出穂期～成熟期積算気温	成熟期目安	収穫適期目安	
			月日	日	℃	月日	月日
二条大麦 (しゅんれい)	過去10年平均	4月6日	47	771	5月23日	6月1日	～ 6月3日
	令和5年産	3月27日	51		5月17日	5月26日	～ 5月28日

注1)令和5年産の成熟期は過去平均の登熟期間と出穂期～成熟期積算気温の過去平均から推定した。

注2)積算気温は出穂期を起算日とし、5/12以降の平均気温は1カ月予報に基づいて過去10年平均並で算定した。

注3)収穫適期目安は二条大麦は成熟期+9～11日

(1)刈取適期の判定

- ・収穫適期は、子実が熟色となり、茎葉の青味がとれ、大部分(80%以上)の穂首が90度以上曲がった頃で、適期幅は3～5日と短いとされている。中部地区の実績から収穫適期は成熟期から9～11日後とする。【参考資料1参照】

- ・ビール麦は収穫時に損傷を受けると発芽勢が落ちて品質上問題となるので、子実が硬くなる穀粒水分25%以下の状態で刈取りを行い、コンバイン扱胴回転数は機種所定の麦収穫適用範囲(水稻より下げる)に設定する。

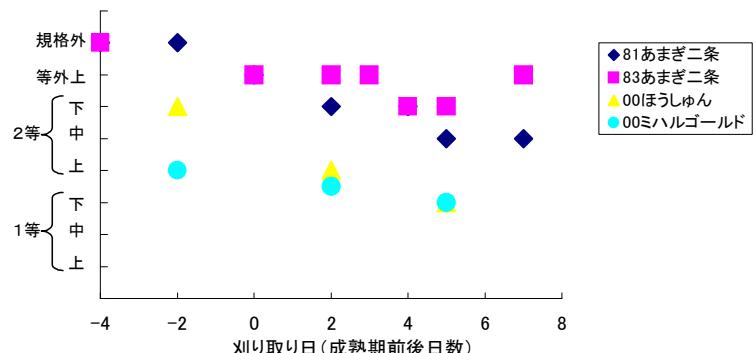


図 ビール麦刈り取り日と検査等級(福岡農総試)

(2)品質低下の防止

- ・刈取適期より早く収穫すると、子実の充実度不足や色浅未熟等により下位等級に格付けされやすくなる。
- ・凸腹粒は成熟期以降の降雨には影響しない。
- ・ほ場による成熟程度のばらつきがある場合、成熟期の異なるほ場を同じ日に刈り取らない。
- ・倒伏の著しいほ場や熟ムラのあるほ場は、通常のほ場と分けて収穫し、調製施設でも区分して荷受けすることで、品質が不良な子実がなるべく混ざらないように注意する。
- ・好天が予想される場合は、熟れの遅い部分に合わせて収穫する。ただし全体に遅穂が多いような生育の場合は、強勢穂を基準にして遅穂が登熟する前に収穫する。

2 収穫後、乾燥調製まで

- ・高水分のまま放置された麦は、保管中に発芽障害を起こしやすいので、刈取後2時間以内には乾燥施設に張込み、乾燥開始までは常温で通風する(ビール麦)。また、刈取当日に必ず乾燥作業を開始する。

【参考資料1】

ビール麦「しゅんれい」の刈取適期表(倉吉農業改良普及所)

平成27年

立毛状況	穂の状況	粒の状況	水分(%)		
成熟期 (5/25)				24.9	<ul style="list-style-type: none"> 穂首は緑がほぼ抜ける 穂首の曲がり0度 チリメンジワがよっていない粒がある
成熟期 2日後 (5/27)				19.3	<ul style="list-style-type: none"> 穂首は緑が抜ける 穂首の曲がり20~30度 チリメンジワが少ない
(発芽勢低下) 刈取厳禁	成熟期 4日後 (5/29)			15.8	<ul style="list-style-type: none"> 穂首の曲がり20~45度 チリメンジワが確認できるが、爪で
	成熟期 7日後 (6/1)			18.1 (2日前降雨あり)	<ul style="list-style-type: none"> 穂首の曲がり30~65度 穂首の曲がり具合にばらつきがある チリメンジワが増え、粒の大半が堅 ほ場全体を見ると芒がキラキラ見える
現地の刈取時期	成熟期 9日後 (6/3)			19.9 (当日降雨あり)	<ul style="list-style-type: none"> 穂首の曲がり60~80度 穂首の傾きが概ね揃う チリメンジワは多く、粒は全てが堅 ほ場全体を見ると芒が目立ちにくくなる
	成熟期 11日後 (6/5)			19.7	<ul style="list-style-type: none"> 穂首の曲がり100度以上 チリメンジワは多く、粒は全てが堅 芒が概ね見えなくなり、穂首のアーチが大きくなる ほ場全体が茶色っぽく見える やや粒の光沢がなくなる

※調査ほ場 鳥取県倉吉市古川沢

※播種日 2014年11月15日、出穂期 2015年4月14日

※水分は5回計測後の平均値(株式会社ケット科学研究所 米麦水分計ライスタm)

※成熟期11日後の写真のみ諸事情により調査場所が異なる(ほ場は同じ)

【参考資料 2】

○農作業事故防止を徹底しましょう！

3月1日～5月31日まで春の農作業安全運動期間です。

あつ、危ない！

トラクター、動力運搬車の重大事故多発



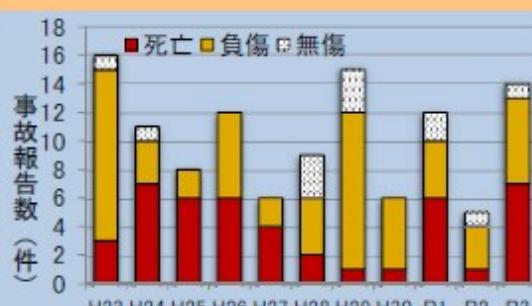
令和3年度に県内で発生した農作業中の重大事故(11月末現在)

負傷程度	使用機械	年齢	場所	事故の概要
死 亡	動力運搬車	70代	田	ひかれ
	動力運搬車	70代	用水路	転落
	動力運搬車	90代	畑	ひかれ
	動力運搬車	80代	畑	ひかれ
	乗用型トラクター	80代	畑	ロータリーへ巻き込まれ
	スピードスプレーヤ	40代	果樹園	挟まれ(SSと梨の枝)
重傷	—	80代	畑	熱中症
重傷	乗用型トラクター	80代	田進入路	横転(急な登り坂を前進)
	乗用型トラクター	70代	田進入路	横転(急坂での操作ミス)

- ・動力運搬車でのひかれ事故が多い
- ・乗用トラクターでの横転事故が多い
- ・死亡事故は70歳代以上が大半

★ ヒヤリ・ハットは事故の予兆です。

★ 大切なものを失う前に安全な操作・作業方法を再確認しましょう。



県内の農作業事故報告数の推移
※県に報告のあったもの。(R3年度は11月末現在)

鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会

事務局

鳥取県農林水産部経営支援課

電話0857-26-7327

JA鳥取県中央会農業くらし対策部

電話0857-21-2607

令和4年1月発行